

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年5月26日

上場会社名 株式会社ムロコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 7264 URL <https://www.muro.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 室 雅文
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 山口 誉 (TEL) 028-667-7122
 定時株主総会開催予定日 2020年6月23日 配当支払開始予定日 2020年6月24日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月23日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	21,401	5.1	1,256	△38.1	1,395	△42.0	846	△51.4
2019年3月期	20,368	1.4	2,030	△10.8	2,408	6.2	1,741	△1.3

(注) 包括利益 2020年3月期 636百万円(△57.6%) 2019年3月期 1,500百万円(△18.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	139.78	—	5.1	5.9	5.9
2019年3月期	281.53	—	10.8	10.3	10.0

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 一百万円 2019年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	23,784	16,745	70.4	2,771.47
2019年3月期	23,714	16,627	70.1	2,687.86

(参考) 自己資本 2020年3月期 16,745百万円 2019年3月期 16,627百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,605	△862	△975	4,741
2019年3月期	2,802	△1,554	△645	5,000

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	20.00	—	24.00	44.00	272	15.6	1.7
2020年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00	265	31.5	1.6
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期(予想)の配当につきましては、未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症により、現時点では合理的な算定が困難であることから、未定とさせていただきます。当該業績予想の開示は、算定が可能となった時点で速やかにお知らせいたします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名)睦諾汽車部件(湖北)有限公司、除外 1社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期	6,546,200株	2019年3月期	6,546,200株
----------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期	504,034株	2019年3月期	360,034株
----------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数

2020年3月期	6,058,690株	2019年3月期	6,186,188株
----------	------------	----------	------------

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	16,683	△3.2	928	△37.8	1,185	△41.0	823	△44.0
2019年3月期	17,236	3.5	1,493	△14.1	2,008	7.4	1,471	2.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	135.97	—
2019年3月期	237.81	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	21,460	15,856	73.9	2,624.26
2019年3月期	22,441	15,654	69.8	2,530.57

(参考) 自己資本 2020年3月期 15,856百万円 2019年3月期 15,654百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

2. 2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点では、2021年3月期の業績予想を開示することが困難であることから、当該業績予想の開示は、可能となった時点で実施する予定です。業績予想に関する事項は、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 企業集団の状況	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
4. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	20
(企業結合等関係)	21
(重要な後発事象)	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当連結会計年度における世界経済は、米中貿易摩擦等国家間の政治的な駆け引き等も絡んでやや減速気味になりながらも全般的には比較的堅調に推移しました。しかしながら、今年に入り中国から世界へと広がった新型コロナウイルスの影響により、各国の主要都市は封鎖され、工場も稼働を停止し、世界中で経済活動が停滞して需要が消失しました。このような状況の中、発生源の中国武漢市では徹底した封鎖措置により2.5ヶ月で感染拡大を抑え込み、経済活動を再開させています。武漢市同様都市封鎖という厳しい措置を取っていた欧米諸国も封鎖措置から徐々に規制を緩め、経済活動を再開し始めています。しかしながら、現状ではうまく行くのかぶり返すのかもまだ何とも言えず、先の見通せない状態が続いております。

一方国内経済につきましては、10月の消費税増税で失速気味になり、第4四半期に新型コロナウイルスの影響も少し有ったものの、3月末までは何とか大崩れせずに推移しました。しかしながら、4月7日に緊急事態宣言が発令され、経済活動は著しく停滞しました。この緊急事態宣言は当初の設定期間を超えて継続し、5月25日に全面解除されましたが、これからの経済活動に対する制約は大きく残ることとなり、経済の先行き不透明感は依然として大きなままとなっています。

このような状況の中、当社グループの連結売上高は21,401百万円（前連結会計年度比5.1%増）となりましたが、これについては今期より連結対象となりましたいがり産業グループの売上加算によるものであり、いがり産業グループを除いた純粋な前年対比では4.2%の減少となっております。営業利益につきましては、資源価格の上昇とスクラップ価格の下落、労務人件費や設備償却費の上昇等により1,256百万円（前連結会計年度比38.1%減）となりました。経常利益につきましては、1,395百万円（前連結会計年度比42.0%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、846百万円（前連結会計年度比51.4%減）となりました。

当連結会計年度におけるセグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 金属関連部品事業

当連結会計年度の当事業の売上高は、18,571百万円（前連結会計年度比4.4%減）となりました。売上が低迷した一部客先の生産減が顕著であったことと海外で苦戦するトラックメーカーの引きが弱かったこと、中国絡みで弱含んだ客先があったこと等により、1年を通じてやや低調に推移しました。

② 樹脂関連部品事業

当連結会計年度の当事業の売上高は、1,886百万円となりました。

③ その他

当連結会計年度の当事業の売上高は、943百万円（前連結会計年度比0.9%減）となりました。海外は豪州と欧州が減少しましたが米国と韓国で増加し、全体としては増加しました。国内は家庭用製品のメディア紹介による特需もありましたが連続ねじ締め機関連が1月以降低調に推移し、全体として減少しました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加145百万円、売掛金及び受取手形の増加265百万円、商品及び製品の増加92百万円、仕掛品の増加118百万円がありましたが、電子記録債権の減少179百万円、有価証券の減少920百万円により、前連結会計年度末と比較して495百万円の減少となりました。

固定資産は、投資有価証券の減少501百万円がありましたが、有形固定資産の増加784百万円、無形固定資産の増加153百万円、繰延税金資産の増加85百万円、投資その他の資産のその他の増加54百万円により、前連結会計年度末と比較して565百万円の増加となりました。

以上の結果、資産合計は前連結会計年度末と比較して70百万円増加し、23,784百万円となりました。

(負債の部)

負債につきましては、電子記録債務の減少775百万円、未払法人税等の減少178百万円がありましたが、支払手形及び買掛金の増加138百万円、短期借入金の増加335百万円、流動負債のその他の増加167百万円、退職給付に係る負債の増加134百万円、固定負債のその他の増加198百万円により前連結会計年度末と比較して47百万円減少して、7,038百万円となりました。

(純資産の部)

純資産につきましては、16,745百万円と前連結会計年度末と比較して118百万円の増加となりました。これは配当金の支払281百万円、新規連結による変動額の計上24百万円、自己株式の取得212百万円、その他の包括利益累計額合計の変動額210百万円の減少がありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益の計上846百万円の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、税金等調整前当期純利益、減価償却費や有価証券の償還による収入があったものの、仕入債務の増減額、法人税等の支払額、定期預金の預入による支出、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出、有形固定資産の取得による支出、有価証券の取得による支出、長期借入金の返済による支出や配当金の支払額などがあり、当連結会計年度末には4,741百万円（前連結会計年度末比5.1%減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は1,605百万円（前年同期比42.7%減）となりました。これは受取利息及び受取配当金113百万円、仕入債務の増減額945百万円、法人税等の支払額718百万円などの資金の流出があったものの、税金等調整前当期純利益1,337百万円、減価償却費1,302百万円、退職給付に係る負債の増減額95百万円、売上債権の増減額425百万円、利息及び配当金の受取額114百万円などの資金の流入があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は862百万円（前年同期比44.5%減）となりました。これは定期預金の払戻による収入112百万円、有価証券の償還による収入1,797百万円などがあったものの、定期預金の預入による支出413百万円、有価証券の取得による支出342百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出275百万円、有形固定資産の取得による支出1,430百万円などの資金の流出があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は975百万円（前年同期比51.2%増）となりました。これは長期借入金の返済による支出402百万円、配当金の支払額281百万円、自己株式の取得による支出212百万円などがあったことによります。

(4) 今後の見通し

(次期の見通し)

新型コロナウイルスの世界的蔓延により世界各地で経済活動が停止または著しく停滞しており、多くの需要が消失しました。世界各地では感染拡大を抑え込みながらの経済活動再開を試行し始めていますが、依然として先行きは不透明であり、近い未来でも見通せる状況にはありません。したがって次期の業績見通しにつきましては、現状で合理的に算定することが困難であるため、未定といたします。今後、合理的な算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

利益配分につきましては、長期安定的配当の維持を基本方針とし、業績や経営環境等を総合的に勘案しながら株主の皆様のご期待にお応えしてまいりたいと考えております。

以上のような方針に基づき、今期の期末配当金につきましては、1株につき普通配当として22円を配当し、既の実施しました中間配当22円と合わせて年間で44円の配当といたします。

次期配当金につきましては、現時点では業績見通しも未定であるため、配当予想も未定といたします。今後、業績見通しを算定可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 企業集団の状況

当社グループ(当社及び当社の関係会社)は当社、子会社9社及び関連会社1社により構成されており、金属関連部品、樹脂関連部品、その他の各事業で製品の製造・販売を主たる業務としております。

当社グループのセグメントの概要は下記のとおりです。

1. 金属関連部品事業

部品加工……………主要な製品は駆動伝達・操縦装置部品、エンジン部品、コンプレッサー部品等であります。これら製品は当社及び海外子会社ムロテック オハイオコーポレーション、海外子会社ムロ テック ベトナム コーポレーション、海外子会社ピーティー ムロテック インドネシア、海外子会社睦諾自動車部品(湖北)有限公司が製造・販売、国内子会社北関東プレーティング株式会社がメッキ加工等の製造、海外関連会社3MT(THAILAND)CO.,LTD.が販売をしております。

業務請負……………国内子会社エム・シー・アイ株式会社が、当社の製造工程の一部と製造間接部門の一部の業務を請け負っております。

2. 樹脂関連部品事業

部品加工……………主要な製品は自動車及びカメラ向け樹脂成形部品、医療機器関連成形部品、OA機器向けギア部品、ビニール製品の加工等であります。国内子会社いがり産業株式会社、海外子会社IGARI INDUSTRY(THAILAND)CO.,LTD.が製造・販売をしております。

3. その他

連続ねじ締め機及びねじ連綴体……当社及び海外子会社ムロ ノース アメリカ インクが製造・販売をしております。

柑橘類皮むき機……………当社が製造・販売をしております。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

将来のIFRS適用に備え、社内のマニュアルや指針等の整備及びその適用時期について検討を進めております。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,469,004	5,614,137
受取手形及び売掛金	2,584,758	2,850,223
電子記録債権	1,801,956	1,622,411
有価証券	1,463,474	542,621
商品及び製品	623,497	716,243
仕掛品	282,756	401,250
原材料及び貯蔵品	334,892	365,860
その他	306,887	259,291
流動資産合計	12,867,228	12,372,039
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,550,375	6,976,531
減価償却累計額	△3,870,682	△4,241,372
建物及び構築物(純額)	2,679,692	2,735,158
機械装置及び運搬具	12,699,621	13,762,013
減価償却累計額	△10,122,053	△10,920,519
機械装置及び運搬具(純額)	2,577,568	2,841,493
土地	1,353,239	1,490,537
建設仮勘定	270,129	372,670
その他	5,234,303	5,882,903
減価償却累計額	△5,001,897	△5,424,832
その他(純額)	232,405	458,070
有形固定資産合計	7,113,035	7,897,930
のれん	—	100,418
その他	128,814	181,575
無形固定資産	128,814	281,994
投資その他の資産		
投資有価証券	2,505,376	2,004,229
長期貸付金	11,197	499
繰延税金資産	216,034	301,141
その他	876,956	931,052
貸倒引当金	△4,280	△4,280
投資その他の資産合計	3,605,285	3,232,642
固定資産合計	10,847,136	11,412,567
資産合計	23,714,364	23,784,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	877,586	1,015,921
電子記録債務	2,986,159	2,210,744
短期借入金	300,000	635,356
1年内償還予定の社債	—	110,000
1年内返済予定の長期借入金	287,223	221,845
未払金	554,744	541,403
未払法人税等	318,285	139,893
賞与引当金	600,355	615,066
役員賞与引当金	40,160	47,770
その他	673,995	841,141
流動負債合計	6,638,511	6,379,144
固定負債		
社債	—	20,000
長期借入金	175,651	43,384
繰延税金負債	16,826	7,214
役員退職慰労引当金	21,303	21,871
退職給付に係る負債	132,198	266,655
その他	102,289	300,654
固定負債合計	448,271	659,779
負債合計	7,086,783	7,038,923
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,095,260	1,095,260
資本剰余金	904,125	904,125
利益剰余金	14,621,241	15,162,724
自己株式	△182,663	△395,351
株主資本合計	16,437,964	16,766,759
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	377,984	249,905
為替換算調整勘定	△128,533	△127,438
退職給付に係る調整累計額	△59,833	△143,543
その他の包括利益累計額合計	189,616	△21,076
純資産合計	16,627,581	16,745,683
負債純資産合計	23,714,364	23,784,607

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	20,368,940	21,401,879
売上原価	15,843,405	17,517,038
売上総利益	4,525,535	3,884,840
販売費及び一般管理費		
保管費	93,722	96,583
運搬費	369,040	387,339
給料及び賞与	776,449	814,911
賞与引当金繰入額	119,627	104,364
役員賞与引当金繰入額	40,160	47,770
退職給付費用	14,139	20,119
減価償却費	34,362	45,283
貸倒引当金繰入額	252	814
のれん償却額	—	25,104
その他	1,047,156	1,085,900
販売費及び一般管理費合計	2,494,910	2,628,190
営業利益	2,030,624	1,256,650
営業外収益		
受取利息	67,480	82,515
受取配当金	27,231	31,461
為替差益	109,669	—
太陽光売電収入	13,876	12,888
補助金収入	108,992	23,026
その他	68,908	107,756
営業外収益合計	396,158	257,646
営業外費用		
支払利息	8,732	12,896
減価償却費	6,170	5,442
為替差損	—	93,352
その他	3,854	6,852
営業外費用合計	18,757	118,544
経常利益	2,408,025	1,395,752
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	192	—
固定資産売却益	1,403	794
貸倒引当金戻入額	—	3,353
特別利益合計	1,596	4,148
特別損失		
固定資産売却損	8,821	—
固定資産除却損	4,180	2,645
投資有価証券評価損	4,248	—
災害による損失	—	1,018
減損損失	—	58,567
特別損失合計	17,250	62,231
税金等調整前当期純利益	2,392,371	1,337,669
法人税、住民税及び事業税	615,211	461,798
法人税等調整額	35,523	28,934
法人税等合計	650,735	490,733
当期純利益	1,741,635	846,935
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,741,635	846,935

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	1,741,635	846,935
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△63,834	△128,079
為替換算調整勘定	△158,268	1,095
退職給付に係る調整額	△19,515	△83,709
その他の包括利益合計	△241,618	△210,693
包括利益	1,500,017	636,242
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,500,017	636,242
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,095,260	904,125	13,238,405	△182,550	15,055,241
当期変動額					
剰余金の配当			△358,800		△358,800
親会社株主に帰属する当期純利益			1,741,635		1,741,635
自己株式の取得				△112	△112
新規連結による変動額			—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,382,835	△112	1,382,723
当期末残高	1,095,260	904,125	14,621,241	△182,663	16,437,964

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	441,819	29,734	△40,318	431,235	15,486,476
当期変動額					
剰余金の配当					△358,800
親会社株主に帰属する当期純利益					1,741,635
自己株式の取得					△112
新規連結による変動額					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△63,834	△158,268	△19,515	△241,618	△241,618
当期変動額合計	△63,834	△158,268	△19,515	△241,618	1,141,105
当期末残高	377,984	△128,533	△59,833	189,616	16,627,581

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,095,260	904,125	14,621,241	△182,663	16,437,964
当期変動額					
剰余金の配当			△281,395		△281,395
親会社株主に帰属する当期純利益			846,935		846,935
自己株式の取得				△212,688	△212,688
新規連結による変動額			△24,057		△24,057
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	541,482	△212,688	328,794
当期末残高	1,905,260	904,125	15,162,724	△395,351	16,766,759

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	377,984	△128,533	△59,833	189,616	16,627,581
当期変動額					
剰余金の配当					△281,395
親会社株主に帰属する当期純利益					846,935
自己株式の取得					△212,688
新規連結による変動額					△24,057
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△128,079	1,095	△83,709	△210,693	△210,693
当期変動額合計	△128,079	1,095	△83,709	△210,693	118,101
当期末残高	249,905	△127,438	△143,543	△21,076	16,745,683

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,392,371	1,337,669
減価償却費	1,144,538	1,302,115
減損損失	—	58,567
のれん償却額	—	25,104
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△20	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△22,582	△289
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,155	7,610
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△1,183	567
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6,535	95,669
受取利息及び受取配当金	△94,711	△113,976
支払利息	8,732	12,896
為替差損益 (△は益)	△102,134	83,330
補助金収入	△108,992	△23,026
固定資産除却損	4,180	2,645
有形固定資産売却損益 (△は益)	7,417	△794
売上債権の増減額 (△は増加)	△29,418	425,389
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△14,183	△82,595
仕入債務の増減額 (△は減少)	△30,383	△945,370
未払金の増減額 (△は減少)	△192,518	26,647
未払又は未収消費税等の増減額	158,647	△94,650
その他	12,502	75,846
小計	3,143,880	2,193,356
利息及び配当金の受取額	94,691	114,432
利息の支払額	△8,931	△7,057
補助金の受取額	108,992	23,026
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△536,370	△718,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,802,261	1,605,709
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△392,608	△413,505
定期預金の払戻による収入	401,700	112,287
有価証券の取得による支出	△423,625	△342,141
有価証券の償還による収入	1,363,100	1,797,082
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△275,187
有形固定資産の取得による支出	△1,086,054	△1,430,933
有形固定資産の売却による収入	91,307	5,634
無形固定資産の取得による支出	△36,972	△69,880
投資有価証券の取得による支出	△1,317,802	△227,932
保険積立金の積立による支出	△157,808	△48,338
その他の支出	△7,880	△19,503
その他の収入	11,804	49,897
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,554,839	△862,519

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△286,876	△402,941
短期社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△357,263	△281,395
自己株式の取得による支出	△112	△212,688
リース債務の返済による支出	△1,141	△68,748
財務活動によるキャッシュ・フロー	△645,394	△975,774
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84,467	△26,089
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	517,559	△258,673
現金及び現金同等物の期首残高	4,482,752	5,000,312
現金及び現金同等物の期末残高	5,000,312	4,741,639

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社及び子会社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動車用部品及び産業用機械部品等の製造販売を主な事業内容としており、これら取り扱う製品ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従いまして、当社グループが基礎とするセグメントは製品別で構成されており、販売金額の大半を占める「金属関連部品事業」、「樹脂関連部品事業」を報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントの変更に関する事項

当連結会計年度より、イガリホールディングス株式会社の株式を取得したことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「車輛関連部品事業」の1区分から、「金属関連部品事業」及び「樹脂関連部品事業」の2区分に変更しております。

また、当連結会計年度より、睦諾汽車部件(湖北)有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「企業集団の状況」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	19,416,371	—	19,416,371	952,569	20,368,940	—	20,368,940
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—
計	19,416,371	—	19,416,371	952,569	20,368,940	—	20,368,940
セグメント 利益	2,628,785	—	2,628,785	83,024	2,711,810	△681,186	2,030,624
セグメント 資産	17,814,512	—	17,814,512	954,914	18,769,427	4,944,937	23,714,364
その他の項 目							
減価償却 費	1,113,575	—	1,113,575	12,489	1,126,065	18,472	1,144,538
有形固定 資産、無 形固定資 産 及び長期 前払費用 の増加額	1,087,481	—	1,087,481	4,736	1,092,217	30,809	1,123,027

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	金属関連部品 事業	樹脂関連部品 事業	計				
売上高							
外部顧客 への売上 高	18,571,059	1,886,856	20,457,915	943,963	21,401,879	—	21,401,879
セグメン ト間の内 部売上高 又は振替 高	—	813	813	—	813	△813	—
計	18,571,059	1,887,669	20,458,728	943,963	21,402,692	△813	21,401,879
セグメント 利益	1,863,239	26,604	1,889,843	113,772	2,003,615	△746,965	1,256,650
セグメント 資産	16,863,402	1,661,662	18,525,064	1,027,338	19,552,402	4,232,204	23,784,607
その他の項 目							
減価償却 費	1,152,918	105,298	1,258,217	21,341	1,279,559	22,555	1,302,115
有形固定 資産、無 形固定資 産 及び長期 前払費用 の増加額	1,703,309	735,466	2,438,775	17,290	2,456,065	33,589	2,489,655

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連続ねじ締め機、ねじ連綴体及び柑橘類皮むき機等の製造販売の新規事業品等事業であります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間の内部売上高又は振替高※1	—	△813
全社費用※2	△681,186	△746,152
合計	△681,186	△746,965

※1 セグメント間の内部売上高又は振替高は、主にセグメント間取引消去であります。

※2 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) セグメント資産

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産※	4,944,937	4,232,204

※ 全社資産は主に当社での余資運用資金(現金及び預金)、投資資金(有価証券及び投資有価証券)、繰延税金資産及び管理部門に係る資産等であります。

(3) その他の項目

(単位：千円)

	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費※1	18,472	22,555
有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用の増加額※2	30,809	33,589

※1 減価償却費は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※2 有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用の増加額は主に当社の管理部門に係る資産であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	東南アジア	その他	合計
16,654,140	2,617,937	253,244	804,087	39,532	20,368,940

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	カナダ	中国	東南アジア	合計
4,792,098	1,116,186	191,010	—	1,013,739	7,113,035

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
トヨタ自動車株式会社	2,525,600	金属関連部品事業
本田技研工業株式会社	2,187,932	金属関連部品事業

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	北米	欧州	東南アジア	その他	合計
17,954,632	2,250,640	181,089	959,075	56,442	21,401,879

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	米国	カナダ	中国	東南アジア	合計
5,354,214	1,001,641	195,414	301,269	1,045,389	7,897,930

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
トヨタ自動車株式会社	2,651,551	金属関連部品事業
本田技研工業株式会社	2,336,233	金属関連部品事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産	2,687円86銭	2,771円47銭
1株当たり当期純利益	281円53銭	139円78銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,741,635	846,935
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	1,741,635	846,935
期中平均株式数(株)	6,186,188	6,058,690

(企業結合等関係)

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 イガリホールディングス株式会社

事業の内容 プラスチック加工業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社といたしましては、金属プレス部品以外の自動車向け精密樹脂部品のラインナップを拡充することで既存取引先及び新規取引先に対する提案力強化につながり、いがりグループにおきましても当社の国内外の多様な基盤を活用した拡販や調達、経営や技術等の連携により、さらなる業績向上が期待できます。そして中長期的には、当社グループとしての製品・事業の多角化に伴うさらなる成長へとつなげたいと考えております。

(3) 企業結合日

2019年4月1日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(8) その他取引の概要に関する事項

当社はいがり産業株式会社の持ち株会社であるイガリホールディングス株式会社を現物配当したことにより清算しました。

2. 連結会計年度に係る連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2019年4月1日から2020年3月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

当事者間の合意により非開示とさせていただきます。

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 37,541千円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

125,523千円

(2) 発生原因

主に今後の事業展開によって期待される超過収益力であります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(重要な後発事象)

該当事項はありません。